

令和 2 年度 事務事業外部評価（案）

静岡市上下水道事業経営協議会

令和 3 年 9 月 3 日

外部評価 まとめ(案)を御確認いただき、資料 2 の御回答をお願いします。

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>また、関係部局との協議、調整に時間を要した一部工事が繰越しとなり、活動指標を達成できなかった。</p> <p>成果指標の達成度は「a」評価であるものの、関係部局との協議、調整という内的要因による工事遅延については、改善の余地があると判断し、自己評価を「b」評価とした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大きな地震が予測される中、水道管の耐震化は最も重要な課題です。令和2年度は、活動指標の計画に対し72%の実績で計画を大きく下回っております。<u>関係部局との協議、調整を図り、計画達成に向けて進めて頂きたいです。</u> 道路工事後に掘削制限期間が生じることや、同調施工により経費節減が望めることを考慮すると、多少の繰越があっても道路管理者と連携しながら進めるほうが良いと思います。 また、管布設後供用開始できる区間については供用を開始して事業効果を高めていってください。 結果だけを見ると、活動指標にたった「0.7km」及ばなかったこととなりますが、<u>原因が関係部局との調整によるところなので、御認識のとおり、改善可能な部分があるか</u>と思います。 令和2年度に、<u>協議や調整に時間を要した経緯を、今年度の改善に生かしてください。</u> 災害リスクを小さくするために計画どおりの進捗は勿論ですが計画以上の速度アップも期待したいです。事業計画(予算)の柔軟な変更は無理かもしれませんが、<u>市民生活を守っている大切な事業ですから、確実性の高い安全な工事のスピードアップに努力してほしい。</u> 基本的な工程を踏まえて進む方が効率的なのは御承知でしょうが皆さんの状況がそれを阻むのでしょうか。障害がたくさんあるのでしょうかその点ががんばっていただきたいと思います。 	<p>りにくい。(事業全般)</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 水道施設の耐震化」 «水道基盤整備課» [a 評価] 水道施設の耐震化について、配水池の耐震化率を R 2 計画どおり「計画の見直し」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、「草薙配水池の水運用(配水池の貯水量減の操作により、費用をかけずに耐震性を確保。)及び「向敷地配水場耐震化事業(今ある施設を活用することで用地取得に必要な期間を短縮し、令和 9 年度から予定していた工事を令和 4 年度に前倒し着手)」について計画の見直しを実施した。</p> <p>また、配水池の耐震化率は、R 2 計画のどおり「42.1%」となり、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。 (令和 2 年度中に耐震化が完了した配水池はないが、全体の有効容量が減少したことにより、耐震化率は上昇している。)</p>	<p>「③ 水道施設の耐震化」に対する評価 委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に<u>費用対効果を心がけ、市民への安心安全な水の供給を希望する。</u> ・計画どおり進捗している。<u>草薙配水池の水運用の費用をかけずに耐震化を確保する工夫は有益</u>であり、他の配水池への応用が可能であれば活用してほしい。 ・<u>計画の見直しが費用や工期面においても大きく貢献している</u>と思います。 ・令和 2 年度に耐震化の見直しを行い、耐震化率も目標の達成となりましたが、令和 3 年度の成果指標計画値の耐震化率 44.3%も達成すべく頑張ってください。 ・常時の有効容量を減らしてしまったのは気になりますが、それによって施設の耐震性が確保できることを確認できたことは、<u>市民生活の安心感の増大につながるもの</u>と思われます。 ・既存の配水池を利用したり、費用をかけずに耐震を行ったりして、災害時の市民の水を確保できることはとても有難いです。 ・<u>前倒しの事業実施や費用をかけない耐震性確保など有効に事業が進められていることを高く評価したい。</u> ・配水池の地震対策が<u>前倒し着手したことは市民の生活を守るためにとても評価できること</u>と思う。 	<p>[a 評価] 水道施設の耐震化については、計画どおりに進捗している。 事業の費用対効果を心がけ、災害時の安全安心な水の供給に向けた施設の耐震化に努めること。 また、計画の見直しにより、耐震性の確保や着手時期の前倒しにつながったことは評価できる。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>1 危機管理を強化する。</p> <p>(2) 浸水対策</p>	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」</p> <p>≪下水道建設課≫ [a 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、雨水幹線・ポンプ場などの完了地区数は、R2計画「0地区」にR1に未達成であった「3地区」を加えた「3地区」に対し、「2地区」となった。次に対策実施地区数は、R2計画「5地区」にR1に未達成であった「3地区」を加えた「8地区」に対し、「7地区」であった。</p> <p>具体的な取組として、対策完了地区数は、R1完了予定であった「広野」、「豊田二丁目・三丁目」及び「小鹿三丁目」の3地区を予定していたが、このうち対策が完了したのは「広野」及び「豊田二丁目・三丁目」の2地区となった。「小鹿三丁目」地区は令和3年2月に浸水対策に重要な雨水渠の整備は完了し、供用開始したものの、地元から当該工事区間の既設道路側溝の改修要望があり、その側溝改修工事を待ってから舗装復旧工事を実施したので、工事完了が令和3年5月となった。このため、対策完了地区の実績値は2地区となった。次に対策実施地区数は、上の3地区を加えて「8</p>	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小鹿三丁目の雨水渠の整備は完了したものの、地元から側溝改修の要望があり完了時期が遅れたこと、また和田川への雨水の放流について建設局の整備に合わせるため工事着手できなかったことなど、<u>単独で工事を進められないもどかしさもあるが、その中で臨機応変、頑張っておられたと感じた。</u> ・上下水道局は局内だけでは事業の円滑な進捗は困難である。建設局、電気業者、ガス業者、通信業者との計画、意見のすり合わせを早期にかためて組織間の意思の疎通を図ってほしい。 ・<u>地球規模の気候変動に警鐘が鳴らされ、豪雨、地震といった大規模な自然災害が毎年のように起きている今、下水道には問題に対する柔軟な対応が求められている。この結果に甘んじることなく、さらなる前倒しの事業実施に期待したい。</u> ・対策完了地区数、対策実施地区数が計画値より低い数値になったのは、地元他関係省庁との諸事情によるものであり、実施計画どおりの成果が出ていると思います。 ・小鹿三丁目地区は、雨水渠の整備は完了し供用も開始しているので、完了扱いでもよいくらいではないかと思います。<u>近年は、雨の降り方が尋常でないので、引き続き浸水対策を進めてください。</u> <p>内水被害は、放流先河川の流下能力や、土地利用にも要因があると思うので、<u>河川や都市計画の部署とも連携して進めていただければと考えます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、浸水被害の軽減につながる重要な対策ですが、令和2年度は成果指標計画値に対する実績も93.2%とほぼ達成し、令和4年度までの計画も出されており評価出来ます。 	<p>[a 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備については、計画どおりに進捗している。</p> <p>近年大規模な自然災害が発生しているため、関連する事業と連携し、柔軟かつスピード感を持って進めていくこと。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>地区」実施する予定であったが、「押切・石川新町」地区では、雨水放流先の和田川について建設局の整備に合わせる必要が生じたため工事着手を見送り、実績値は7地区となった。</p> <p>また、浸水対策率はR2計画「57.7%」に対し、「53.8%」の実績で、達成率は93.2%となったため、「a」評価とした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画値と前年度の繰り越し数を加えた当該年度の（修正）計画値が、活動指標の表からは読み取れないため、前年繰り越し分の欄を1列追加していただくと理解しやすいと思います。（前年度分事業を繰り越した他の事業についても同様） ・前年度の未達成地区を含めての浸水対策率の実績は高く評価したい。一方、<u>災害は予測できないことも多いので1計画地区の残りや着手地区のスピードアップにつなげてほしい。</u> ・市民の要望を取り入れることで工事の遅れが出ることを知りました。 	

<p>1 危機管理を強化する。</p> <p>(4) 災害時などの対応や体制の確立</p>	<p>「② 災害時活動拠点の整備」</p> <p>«水道管路課» [a 評価]</p> <p>災害時活動拠点の整備について、耐震性貯水槽の整備を R2 計画「1 基」に対し、1 基の設置工事を発注したが、想定以上の湧水により、付帯工事が年度内に完了せず、完成は令和 3 年度となった。</p> <p>具体的な取組として、駿河区中島児童館に、耐震性貯水槽 1 基を設置する工事を発注した。</p> <p>また、災害時、1 週間に必要となる水を供給できる人数は、R2 計画「203,200 人」に対し、「198,400 人」の実績で、達成率は 97.6%となった。</p> <p>活動指標の実績値が計画値を下回るものの、令和 3 年 3 月末には供用可能な状態であり、目標達成に向けて計画どおり成果が出ているため、総合的に勘案し「a」評価とした。</p>	<p>「② 災害時活動拠点の整備」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[a 評価] 12 名 c 評価 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害時の給水について、着実に実績をあげていると評価しているが、そもそも 1 週間に必要な水の量が 21 リットルでよいのか、疑問がある。再考を促したい。[資料 3 No.27]</u> ・<u>令和 2 年度の貯水槽の設置工事計画が年度内に完成できなくても、成果指標を満たしているから内部評価を a とする判断は疑問である。そもそも活動指標を満たさなくても、成果指標が達成できるという計画値の設定に問題がある。【c】</u> ・<u>地球規模の気候変動に警鐘が鳴らされ、豪雨、地震といった大規模な自然災害が毎年のように起きている今、災害時の給水は多くの市民が関心を持ち、また心配している課題だ。この結果に甘んじることなく、さらなる前倒しの事業実施に期待したい。</u> ・令和 3 年 3 月末には運転可能な状態であるため計画どおりと判断しました。 ・目標達成に向けて計画どおり成果が出ており、評価される。 ・一人一日 3 リットルでは、生活・衛生用水まで回らないと思うので、<u>より多くの貯水容量が確保できるように、取り組みを進めてください。</u> ・協議会でも意見として出ましたが、<u>引き続き給水拠点の整備と可能な範囲で増設もお願いします。</u> ・<u>災害時活動拠点としての貯水槽容量が災害時の必要水量(飲料とそれ以外の生活必要用水)をどのように算出しているかが分かりませんが、成果指標の達成率からみると 97.6%ですが市民感覚として不安もあり災害時のニーズにこたえるためにはまだまだと b よりの a 評価とします。</u> ・<u>災害時に必要なトイレや洗濯用の水に関してどのような供給が可能か示してほしい。[資料 3 No.12]</u> 	<p>[a 評価]</p> <p>災害時活動拠点の整備については、計画どおりに進捗している。</p> <p>近年大規模な自然災害が発生しているため、災害時のニーズに応えることができるよう、引き続き耐震性貯水槽の設置に努めること。</p> <p>なお、活動指標に設定している貯水槽の設置が年度内に完了していないことから、「c」とする評価もあった。</p>
---	---	---	--

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>2 管・施設を効率的に運用する。</p> <p>(1) 管・施設の老朽化対策</p>	<p>「② 水道管の更新」</p> <p>«水道管路課» [b 評価]</p> <p>水道管の更新について、水道管（配水支管）の更新を、R2計画「13.1 km」に対し、「9.8 km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、配水支管の更新調査・設計・工事を実施した。取組結果としては、入札不調により完成延長が9.8kmにとどまったものの、不調工事の再発注及び追加工事の発注により、年度内に当初予定どおりの更新延長を発注した。</p> <p>また、管路の更新率はR2計画「0.60%」に対し、「0.44%」の実績で、達成率は73.3%となったため、「b」評価とした。</p> <p>(「a」以外となった理由等)</p> <p>計画的に工事の発注を行ったが、入札の不調により工事着手時期が遅れた事で、計画どおりに事業の完成ができなかった。</p>	<p>「② 水道管の更新」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[b 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>b 評価でやむを得ないかと思うが、その原因が技術者、技能者の獲得困難による入札不調というのは、大きな問題だと思う。業者が受注しやすい環境整備に力を入れてほしい。全体に水道管の更新が遅いのではないかと、実感として感じている。</u> ・<u>地味な業務であるが、安全な水供給には不可欠な事項である。入札業者の確保が困難で入札不調になり事業実施ができないことは深刻な問題である。</u> ・<u>施工業者の技術者の確保にプラスになるような施策（講習会の開催など）を実施すると良いのでは。</u> ・<u>要因が入札不調により完成延長が計画値に達しなかったため、成果がやや低いと判断しました。</u> ・<u>入札不調等により成果指標の達成率が73.3%と低調に終わった。再発注及び追加工事の発注で、当初予定の更新延長を発注した様ですが、計画達成に向けて頑張ってもらいたい。</u> ・<u>老朽管が更新されていけば、安定給水につながっていくので、取り組みを進めてください。相当な更新費用を必要とすると思われるので、その費用を十分に見込んだ料金としていく必要もあると思います。事後対応と割り切る部分をつくるのも一つの考え方かと思います。技術者のほか、ダンプ、交通誘導警備員の確保が困難な状況となっているので、複数の工事の実施時期をラップさせない工期設定や、事業費の債務設定等も必要と思われます。</u> ・<u>R2 年度未了分も予定どおり発注済みとのことから、それらも含めR3 年度は計画どおり実施していただければと思います。</u> 	<p>[b 評価]</p> <p>水道管の更新については、計画をやや下回っている。</p> <p>老朽化した水道管の更新は安定給水につながることから、遅れの原因となる入札不調の改善を図るような取組を検討し、更新を計画的に進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>耐震化と同様に老朽化した水道管更新事業はもっとスピードアップと遅れた要因の究明、改善を図り、目標指標に近い結果をさらに期待したい。</u> ・施工業者の数に合わせて工事発注の件数を抑制していくのは残念な気がします。 	

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 下水道管の改築」 ≪下水道維持課≫ [a 評価] 下水道管の改築について、R2 計画「4.9km」に対し、「3.9km」実施した。 具体的な取組として、高松処理区、城北処理区、南部処理区及び北部処理区の調査・設計及び改築工事を前年度からの繰越しも含め 5.6km 実施した。取組結果としては、入札不調により完成延長が 3.9km にとどまったものの、不調工事の再発注及び追加工事の発注により、年度内に当初予定どおりの改築延長を発注した。 また、管きよ 100 km 当たりの陥没箇所数は R2 計画「0.4 箇所以下」に対し、「0.24 箇所」と目標を上回り、目的達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、活動指標と成果指標を総合的に勘案し「a」評価とした。</p>	<p>「③ 下水道管の改築」に対する評価 委員 13 名のうち、[a 評価] 12 名 b 評価 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能のマヒにつながる道路陥没対策は粘り強く取り組んでいただきたい。 ・不調工事の再発注、追加工事の発注といった柔軟な対応を高く評価したい。施工業者の技術者の確保にプラスになるような施策（講習会の開催など）を実施すると良いのでは。 ・管きよ 100 km 当たりの陥没箇所数が計画値を上回っており成果を評価できると思います。 ・令和 2 年度活動指標計画の「4.9km」に対し、「3.9 km」実施(80%)だったが、繰越しも入れて 5.6 km 実施し、又入札不調の再発注、追加工事も年度内に改築延長を発注した。また、成果指標の陥没箇所数も 0.4 カ所以下(10 カ所)に対し、0.24 カ所(6 カ所)と目標を達成した。 ・R2 活動指標の計画「4.9km」に対し、実施したのは「3.9km」であるため、<u>計画に対する達成率が 79.6%であり、「a」評価の基準である 90%以上を満たしていない。この要因が入札不調であり、不可抗力であるとは思われない。また年度内に発注したとあるが、工事が完了しているわけではないため、計画を達成したとは認められない。したがって、「b」評価とした。</u>【b】 ・令和 2 年度末で、敷設後 50 年を超える管路の延長が約 190 km であることを評価シートのどこかに記載してもらいたいと思います。老朽管が更新されていけば、排水処理の安定と道路通行の安心につながっていくので、取り組みを進めてください。 ・管の老朽化による道路陥没事故があるって怖いですね。一般的耐用年数が 50 年でも状態はいろいろ違うと聞きました。見えない部分だけにメンテナンスがいかに重要わかりました。 	<p>[a 評価] 下水道管の改築については、計画どおりに進捗している。 道路陥没は都市機能のマヒに直結する可能性があることから、引き続き計画的に事業を進めていくこと。 なお、活動指標について年度内に発注したとあるが、工事が完了していないことから、「b」とする評価もあった。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「④ 水道施設の更新」 «水道基盤整備課» [a 評価] 水道施設の更新について、水道施設（設備）の更新数を R2 計画どおり「7 箇所」を実施した。 具体的な取組として、城内配水場電気設備更新工事ほか 6 工事を実施した。 また、更新実施率は R2 計画どおり「12.8%」の実績で、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「④ 水道施設の更新」に対する評価 委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進捗している。 ・<u>活動指標の更新数、成果指標の更新実施率共に 100%達成しており評価される。令和 3 年度、4 年度の目標に対しても達成すべく頑張っており。</u> ・特に、時間管理保全対象の電気設備については計画的に更新すべきであると思いますし、状態の悪い機械設備も水の需要量を勘案しながら更新していくべきだと思います。 ・<u>建築構造物と同様、機械・電気設備の更新も安定給水に不可欠のため、今後も計画的に更新を続けていただければと思います。</u> ・見込まれてる更新が 101 箇所あり令和 4 年度までで 27 箇所しかできないですね。 	<p>[a 評価] 水道施設の更新については、計画どおりに進捗している。 機械・電気設備の更新は安定給水に不可欠なため、今後も計画的に更新を続けること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑤ 下水道施設の改築」 «下水道施設課» [s 評価] 下水道施設の改築について、下水道施設の改築数を R2 計画「8 箇所」に対し、「11 箇所」実施した。</p> <p>具体的な取組として、中島浄化センター 1 系最終沈殿池設備改築工事や浜田ポンプ場沈砂池ゲート設備改築工事などを実施した。</p> <p>また、下水道施設の改築実施率は R2 計画の「10.6%」に対し、「13.1%」の実績で、達成率は 123.5%となったため、「s」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等） 令和 2 年度に、国の財政支援が十分に得られたことや、入札差金が生じたことから、当初計画より前倒しで事業を実施した。今後も国の財政支援等がある場合には経営状況を見極めた上で活用し、下水道施設の老朽化対策を着実に進めていく。</p>	<p>「⑤ 下水道施設の改築」に対する評価 委員 13 名のうち、[s 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前倒しで事業を実施できていることは素晴らしいと思う。 ・<u>資金を得て当初計画より前倒しで事業実施をした姿勢を高く評価したい。引き続き、下水道施設の老朽化対策に努めていただきたい。</u> ・<u>老朽化による改築を計画的に優先順位をつけ実施されていて、リスク発生の不安が払拭されると思います。</u> ・令和元年度から 12 年度末迄に改築が見込まれる老朽化した施設が 160 箇所もあるということで驚きました。令和 2 年度については、改築数及び改築実施率共に計画を大幅に達成しており、大変努力の跡が見られます。令和 3 年以降も計画達成に向けて頑張ってください。 ・特に、時間管理保全対象の電気設備については計画的に更新すべきであると思いますし、状態の悪い機械設備も排水の流入量を勘案しながら更新していくべきだと思います。 ・<u>計画を上回って実施できていることを高く評価します。</u> ・国の財政支援がもっとあるといいですね。経年劣化は怖いです。 	<p>[s 評価] 下水道施設の改築については、計画を上回る実績であることを評価する。 老朽化による下水道機能の低下を防ぐため、引き続き、国からの財政支援を活用して、積極的な改築に努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」 «水道管路課» [a 評価] 水道管の漏水対策について、R2 計画 どおり「1年に1回調査する地区：8地 区、2年に1回調査する地区：3地 区、3年に1回調査する地区：3地区 の計14地区」実施した。 具体的な取組として、漏水調査延長 1,450kmにおいて、584箇所を 発見し修繕を実施した。 また、管路点検率はR2計画 「54.7%」に対し、「55.5%」の実績で、 達成率は101.5%となったため、「a」評 価とした。</p>	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」に対する評価 委員13名のうち、[a 評価] 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに進捗している。施工業者の技術者の確保にプラスになるような 施策(講習会の開催など)を実施すると良いのでは。 ・<u>管路点検率も計画値を上回り、早期発見による修繕を促すことで、浸水や 道路陥没などの災害防止や水の供給も無駄がなくなり、エネルギーコストの 削減につながっていると思います。</u> ・計画的に進められており、令和2年度も計画どおり実施されており成果指 標達成率101.5%は評価されます。 ・<u>漏水量の軽減、有収率の向上、事故の抑制につながるので、引き続き取り 組んでください。</u> ・漏水箇所の多さに驚きました。でも対処できているという事ですから、<u>先の水 道管更新事業を含め対策の一層の努力に期待したい。</u>成果指標の達成 率数値で一応a評価としました。 ・584箇所漏水箇所があったと聞きました。私にはものすごく多い数だと思 いました。 	<p>[a 評価] 水道管の漏水対策については、 計画どおりに進捗している。 漏水量の軽減や有収率の向 上、事故の抑制につながることか ら、引き続き事業を進めていくこと。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>2 管・施設を効率的に運用する。</p> <p>(2) 施設の効率化</p>	<p>「① 施設の小規模化・統廃合」 «水道基盤整備課» [a 評価]</p> <p>施設の小規模化・統廃合について、施設の統廃合を R 2 計画「1 施設停止」に対し、「1 施設停止、中町浄水場・配水池跡地の利活用決定」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、清地水源地～中町浄水場までの導水管の漏水事故に伴い、令和 2 年 7 月 19 日に配水区域の切り替え作業を行い、中町浄水場・配水池を停止した。</p> <p>さらに、R 4 計画にあった「中町浄水場・配水池跡地の利活用方針決定」については、跡地を選定に苦慮していた大平山配水池の更新用地とすることで、用地取得等にかかる期間の縮減につなげることができた。</p> <p>また、軽減額は R 2 計画「998 万円」に対し、「1,017 万円」の実績で、達成率は 101.9%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「① 施設の小規模化・統廃合」に対する評価 委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>中町浄水場・配水池を施設停止することで R 4 年度に計画していた跡地利用も前倒しで大平山配水池の更新用地とすることができ、とてもうまくいった例だと思う。</u> ・計画どおりに進捗している。 ・<u>水道用地の確保が難しい中で、跡地の利用は財政面でも有効であり、業務改善の点や効率性の点からも小規模化の必要性を感じます。</u> ・令和 2 年度計画の 1 施設停止を計画どおり実施し、成果指標である軽減額も達成率 101.9%と維持管理費の軽減につながった。 ・施設の合理化は必要と考えますが、もしもの時のバックアップも考慮されている計画であるとなおいいなと思います。 ・今後も、<u>効率的な水運用と災害時の供給確保のバランスを検討しながら実施していただければと思います。</u> ・施設の統廃合は効果的であったとわかりました。 	<p>[a 評価]</p> <p>施設の<small>小規模化・統廃合</small>については、計画どおりに進捗している。</p> <p>効率的な水運用と災害時の供給確保のバランスを検討し、事業を進めていくこと。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>3 環境への負荷を軽減する。</p> <p>(2) 温暖化対策</p>	<p>「① 自然エネルギーの活用」</p> <p>「水道施設課」 [b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、R2 計画どおり「導入可能性検討」を実施した。</p> <p>また、再生可能エネルギー利用率は、R2 計画どおり「0.16%」の実績で、達成率は 100%となった。次に温室効果ガス排出低減量は、R2 計画値「103 t」に対し、「85 t」の実績で、達成率は 82.5%となったため「b」評価とした。</p> <p>(「a」以外となった理由等)</p> <p>温室効果ガスの排出低減にあたり、小水力発電設備で発電した電力を中部電力の送電ルートで供給するにあたり、送電可能な電力の容量に制限があったことから発電実績が目標を下回り、温室効果ガス排出量の低減につながらなかった。</p>	<p>「① 自然エネルギーの活用」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[b 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>中部電力の送電ルートの、送電可能な電力に制限があったため発電実績が目標を下回ったというのは、納得できない。そもそも中電との協議がきちんできていたのかどうか、疑わしい。[資料 3 No.28]</u> ・非常にもったいない事例。事前の調査や計画を精査するなかで防ぐことができたのではないか？ ・地域特性に合った導入効果を期待します。また、小水力発電設備の設置を検討している規模や落差、発電量、固定買取価格を知ることができればと思います。 ・<u>成果指標の温室効果ガス排出低減量が達成率 82.5%と達成出来ず、前年、前々年も未達成となっています。自然エネルギーの導入が検討されていますが、早く活用出来る様、促進してください。</u> ・<u>新しい設備の導入は、運転管理を必要とするので、費用対効果を十分検討して進めてください。国外製品は、維持管理に難があると思います。</u> ・<u>中部電力と送電量の増加について協議済みとのことですので、R3 年度は温室効果ガス排出量の目標を達成できることを期待します。</u> ・<u>太陽光パネルは、災害などで使用できなくなった時に産業廃棄物として処理の量や方法が問題視されています。設置候補地の選定や水量については、慎重な決定をお願いします。</u> ・<u>会議中の意見でも出ていましたが、費用対効果分析をしっかりと、環境のためになるという目的や高い目標を掲げたために時間や労力、設備費用が無駄にならないよう確実性のある計画、また投資を心がけてほしい。</u> ・中部電力との協議で大きく前に進めることを望みます。 	<p>[b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用については、計画をやや下回っている。</p> <p>中部電力と送電量の増加について協議を行い、改善措置を実施したことから、令和 3 年度には温室効果ガス排出低減量の目標が達成できることに期待する。</p> <p>また、今後の導入に際して、費用対効果を踏まえて検討を行い、確実性のある計画の立案と投資の実施に努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 省エネルギー対策」 «水道総務課» [b 評価]</p> <p>● 上下水道局庁舎等で使用するエネルギー量 R2計画「213kℓ」に対し、「212kℓ」の実績であった。庁舎等使用エネルギーでは、休み時間中の消灯、熱交換器の調整及び摩耗したファンベルトの交換を実施した。</p> <p>● 飲料水の年間生産に必要なエネルギー量 R2計画「8,086kℓ」に対し、「8,318kℓ」の実績であった。飲料水生産エネルギーでは、取水ポンプ等の効率的な運転に努めた。</p> <p>● 下水の年間処理に必要なエネルギー量 R2計画「12,881kℓ」に対し、「12,667kℓ」の実績であった。下水処理エネルギーでは、燃料化施設の運転や省エネ機器の導入を実施した。</p> <p>また、二酸化炭素排出低減量（平成29年度比）は、3事業合計でR2計画「162.4t」に対し、「117.6t」の実績</p>	<p>「② 省エネルギー対策」に対する評価 委員 13 名のうち、[b 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中町浄水場の廃止に伴うポンプ送水による使用電力の増加はやむを得ない事情と感じる。<u>今後も引き続き適正かつ効率的な施設運用を期待したい。</u> ・各施設や職員の省エネルギーの実施については前年と比較して成果が出ているので評価できると思います。 ・活動指標では3事業とも計画達成できたが、成果指標では達成率72.4%と未達となった。<u>中町浄水場の廃止に伴う削減が出来ない状況がある様ですが、省エネルギー対策を更に進め、目標の達成をして下さい。</u> ・令和2年度は安倍川でも伏流水の水位が下がり、井戸からの取水が多かったこともエネルギー使用量が多かった一つの要因ではないかと考えられます。<u>自然に左右されるところがあり、なかなか難しい取り組みだと思えます。</u> ・二酸化炭素排出低減に取り組んでることが数字で表されていてわかりやすいです。 	<p>[b 評価]</p> <p>省エネルギー対策については、計画をやや下回っている。 エネルギー量は施設の状況等に左右されることがあるため、難しい取組であるが、適正かつ効率的な施設運用に期待する。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>で、達成率が72.4%だったため「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>飲料水生産エネルギーにおいて効率的かつ適切な水道施設の運用に努める中で、令和2年7月の中町浄水場(施設の高低差を利用した自然流下方式)の廃止に伴うポンプ送水等の運用増加など、市内の安定給水において必要な電力量が削減できない状況が続いているため。</p>		

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>4 お客様サービスを向上させる。</p> <p>(3) 接客・窓口サービスなどの充実</p>	<p>「③ 地域貢献」</p> <p>「水道総務課」 [c 評価]</p> <p>地域貢献について、地域貢献活動回数を R2 計画「20 回以上」に対し、「9 回」実施した。</p> <p>具体的な取組として、①高齢者等見守り支援 1 回 ②庁舎玄関前にぎわい創出活動 1 回 ③庁舎周辺美化活動 1 回 ④上下水道フェア（オンライン）1 回 ⑤花菖蒲鑑賞会 1 回 ⑥水道・下水道施設見学会 4 回の計 9 回を実施した。</p> <p>また、地域貢献参加職員数は R2 計画「1,000 人以上」に対し、「379 人」の実績で、達成率は、37.9%となったため、「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>新型コロナウイルス感染予防のために地域貢献活動を縮小及び中止したために地域貢献活動回数及び参加職員数が大幅に減少した。</p>	<p>「③ 地域貢献」に対する評価</p> <p>委員 13 名のうち、[c 評価] 10 名 b 評価 3 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で残念な結果となってしまったが、本来ならば上下水道フェアや見学会は市民に大変評判も良いので、<u>コロナ禍の状況を見ながら、地域貢献には力を入れてほしい。上下水道局の活動を市民に理解していただき、後押ししていただくことが、このほか重要だと考えている。市民生活に密着した水道局の事業が、安全に継続していけるためにも。</u> ・<u>市民に上下水道のことを直接知り、理解してもらえる絶好の機会である上下水道フェアなどは、活発に市の職員が取り組んでほしい。</u>その際は、市民参加者数、アンケート調査などその効果も把握してください。 ・コロナ禍においてイベントの実施が難しいのはやむを得ないが、地域貢献はイベントだけではない。たとえば「<u>庁舎周辺美化活動</u>」を毎月行うなど、<u>非接触型で市民が見てわかるような活動を頻繁に行えば、1,000 人達成も無理なくできるのではないか。</u> ・コロナ禍においての活動に制限があるため達成率が低いのは仕方ないと考えます。今後、多くの取組みが実施されるようになった時の成果に期待したいと思います。 ・<u>新型コロナウイルス感染予防の為、活動が十分に出来なかったと思います。工夫すればもう少しは活動出来たのではないのでしょうか。</u>これからもきめ細やかなサービスを提供することで、市民との信頼関係の向上につなげて下さい。 ・コロナでは致し方なく、活動自体がかえって迷惑となることもあると思われます。特に、上下水道施設に勤務する職員に感染があると、運転に支障が出かねないので避けられるリスクは避けるべきと考えます。c 評価としますが、今回の評価も c ではなく「-」でもよいと思います。 	<p>[c 評価]</p> <p>地域貢献については、計画を大きく下回っている。</p> <p>上下水道局の活動を市民に理解していただく機会であるため、コロナ禍であることを踏まえた非接触型の活動等の工夫に努めること。</p> <p>なお、コロナ禍において対面事業の実施ができなかったことや、オンラインでの上下水道フェアの実施を踏まえ、「b」とする評価もあった。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>コロナ禍における地域活動への参画は、どの事業者も非常に苦勞されています。その中で、オンラインでの上下水道フェアや感染対策を行ったうえでの施設見学会の実施は大きな成果と考え、本評価としました。今年度も計画値達成には障害が多数あるかと思いますが、ぜひ工夫しながら実施し、市民との信頼関係向上につなげていただければと思います。【b】</u> ・<u>清掃活動や施設開放などの貢献活動は市民への身近な活動でとても素晴らしいと思いました。島根県雲南市の取組み、水道検針時の高齢者の見守り活動を参考にするのもいいと思う。静岡市でも高齢化が進んでおり、単身の高齢者に声かけがあるとお年寄りも心強いだらうと思う。コロナ禍が収まり、可能な地域があり、できる範囲の活動で構いません。[資料3 No.31]</u> ・<u>新型コロナ感染拡大問題などで対面事業を実施できなかったことで、今後の事業周知活動や地域貢献のあり方をパブリックコメントなどで意見を求め要望に応じられる対策を講じていく方法もあるように思えます。【b】</u> ・<u>地域貢献をこんなに企画して実施していたとは知りませんでした。高齢者も多いし小さなお子さん連れが無理なく参加できる楽しみを是非考えてほしいです。【b】</u> 	

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p> <p>(2) 職員の技術習得</p>	<p>「① 各種研修の充実」</p> <p>「水道総務課」 [b 評価]</p> <p>各種研修の充実について、研修・資格取得計画に則った研修の実施をR2計画「実施」に対し、「実施不可」となった。</p> <p>具体的な取組として、通常の業務を一時離れて上下水道局外で行う「外部研修」と上下水道局内で実施する「内部研修」を計画どおり実施しようとしたが、新型コロナウイルス感染症予防策のため研修の中止等により計画どおり実施できなかった。</p> <p>また、「水道技術に関する資格取得度」はR2計画「1.4件/人」に対し、「1.7件/人」の実績で、達成率は121.4%となった。</p> <p>しかし、水道部と下水道部両部の「外部研修時間」はR2計画「8.5時間/人」に対し、「2.1時間/人」の実績で、達成率は24.7%となった。さらに水道部と下水道部両部の「内部研修時間」はR2計画「9.3時間/人」に対し、「7.6時間/人」の実績で、達成率は81.7%となった。</p> <p>3つの成果指標のうち「外部研修時間」は、コロナの影響による研修中止の多</p>	<p>「① 各種研修の充実」に対する評価</p> <p>委員13名のうち、[b 評価] 12名 - 評価(評価不能) 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で思うように研修ができなかったのは残念だったし歯がゆい思いもあったことと思う。<u>上下水道事業は市民生活を左右する大切な事業なので、コロナ禍の状況を注視しながら、可能な限り研修を実施していただきたい。</u> ・上下水道事業は当事業に携わる民間人（委託業者等）も含めて対市民には同じレベルで対応することが求められる。検針訪問も常時市民に疑問を持たれることなく行えるよう、指導監督を期待します。 ・<u>コロナ禍という特殊事情があり、計画どおりに実施する方が問題があったかもしれないので、評価なしで良いのではないのでしょうか。【-】</u> ・<u>新型コロナウイルス感染症の影響による研修の中止はやむを得ないものである。その影響が長引いている現在、研修の内容にもよるが、少人数、屋外、もしくはオンラインでのリモート研修など、新たな方法による研修を模索していく必要がある。</u> ・<u>資格取得度の達成率が高いことから、職員の意識の高さが伺えます。また、技術や知識の継承については日常業務の多忙の中での研修は大変なので、負担が少ないシステムの構築に努めていただきたいです。</u> ・<u>コロナ対策で、計画どおり研修は進まず、大幅に目標未達でした。各種研修は職員の技術力向上、お客様サービスの充実に欠かせないものなので、工夫をして可能な限り、実施してください。</u> ・<u>コロナでは致し方なく、上下水道施設に勤務する職員に感染があると、運転に支障が出かねないので避けられるリスクは避けるべきと考えます。b 評価としますが、今回の評価もbではなく「-」でもよいと思います。</u> ・外部研修を提供している側としては大変心苦しく思っております。 	<p>[b 評価]</p> <p>各種研修の充実については、計画をやや下回っている。</p> <p>上下水道事業は市民生活を支える大切な事業であるため、コロナ禍を踏まえた新たな研修方法等の検討に努めること。</p> <p>なお、コロナ禍という特殊な状況であったため、計画どおりの実施をする方が問題となる可能性があるとして、「-」とする評価もあった。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>発という不測の外部事情のため評価不能と判断した。その他2つの指標について、「資格取得度」は目標以上の成果が出ているものの、「内部研修時間」は、目標達成に向けてコロナ対策を最大限行い可能な限り実施したが目標を下回っていることから、総合的に評価し、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>新型コロナウイルス感染予防のために外部研修については、多くの研修が中止となったうえに開催されたとしても規模の縮小がなされ計画どおりの受講ができなかった。また、内部研修についてについても新型コロナウイルス感染予防のために研修の中止及び受講者の大幅削減を行ったために計画どおりの受講ができなかった。</p>	<p>R3年度も中止を余儀なくされた研修会もありますが、オンラインでの実施を予定している研修会もありますため、御活用いただければ幸いです。外部の研修への参加は、研修における知識・技術の習得のみならず、他事業体との交流等、顔を合わせることで得られるメリットもあるかと思っておりますので、<u>新型コロナウイルスの状況を注視しながら、人材育成を継続していただければと思います。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも、研修の内容や方法を工夫し、技術向上を図る姿勢が素晴らしいです。 ・研修もコロナ禍で内容が限られたことは致し方ないと思います。 	

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p> <p>(3) 財政の健全化</p>	<p>「② 企業債残高の適正な管理」</p> <p>「a評価」</p> <p>「a評価」</p> <p>企業債残高の適正な管理について、水道事業の企業債借入額及び元金償還金がR2計画「30億円」及び「23億円」に対し、「21億円」及び「23億円」となった。次に下水道事業の企業債借入額及び元金償還金がR2計画「89億円」及び「107億円」に対し、「90億円」及び「106億円」となった。</p> <p>具体的な取組として、借入と償還を計画的に行い、企業債への過度な依存とならないよう適正な管理を実施した。</p> <p>また、水道事業の年度末における企業債残高はR2計画「450億円」に対し、「441億円」の実績で、達成率は102%となった。次に下水道事業の年度末における企業債残高はR2計画「1,438億円」に対し、「1,439億円」の実績で、達成率は99.9%となった。2つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p>	<p>「② 企業債残高の適正な管理」に対する評価</p> <p>委員 13名のうち、「a評価」 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりの成果が出ている点については評価できるが、<u>計画値の設定の妥当性については継続的に検討すべきである</u>。また、企業債の受入先および支払利息の状況についても開示され、今後の発行条件の設定に活用してもらいたい。 ・<u>計画どおりの償還ができており、将来負担の公平性確保や財政基盤の強化のためにも、今後も適正な管理を続けていただきたいです。</u> ・令和2年度における企業債借入額、元金償還金共計画値を達成しており、また下水道企業債借入額と元金償還金も計画値を達成している。また年度末における企業債残高も計画どおりで成果が出ている。 ・固定経費が多いと、運転の工夫が費用の節減に生きてこないで、企業債残高を減らしていく取り組みを続けていってください。 ・引き続き計画的な企業債の発行及び償還をしていただければと思います。 ・ますますの企業債残高の適正な管理を求めます。 	<p>「a評価」</p> <p>企業債残高の適正な管理については、計画どおりに進捗している。</p> <p>将来の負担の公平性の確保や財政基盤の強化のためにも、今後も企業債残高の適正な管理に努めること。</p> <p>また、計画値の設定の妥当性については継続的に検討をすること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑤ 収納率の向上」 «お客様サービス課» [a 評価] 収納率の向上について、給水停止予告通知書発送を R 2 計画「19,000 通」に対し、「19,163 通」実施した。次に受益者負担金一括納付の勧奨を、R 2 計画どおり「3 回」実施した。次に申告書提出督促実施を R 2 計画どおり「1 回」実施した。</p> <p>また、水道料金収納率は R 2 計画「99.11%」に対し、「99.04%」の実績で、達成率は 99.9%となった。次に下水道使用料収納率は R 2 計画「99.05%」に対し、「99.09%」の実績で、達成率は 100%となった。次に受益者負担金収納率は R 2 計画「93.57%」に対し、「95.66%」の実績で、達成率は 102.2%となった。3 つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p>	<p>「⑤ 収納率の向上」に対する評価 委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収納率の向上については、特に意見はありませんが、受益者負担金の収納率の向上は今後の事業を進める上で、特に意味のあることだと考えています。これからも<u>工夫を凝らし収納率の向上に努めていただきたいと思います</u>と思います。 ・計画どおりに進捗している。 <u>水道事業は社会インフラであり、市民が生きていくうえで不可欠なサービスであることから、未収金を減らすことも重要だが、やむを得ない事情により払えない人に対しての措置も必要。</u> ・給水停止予告通知書発送の実績値は増加したが、コロナ禍による経済状況の変化がある中での収納率は高いと思います。 ・活動指標が計画どおり行われ、よって水道料金収納率 99.02%、下水道使用料収納率 99.06%、受益者負担金収納率 95.66%と計画値をほぼ達成し、努力の跡が見られる。 ・料金徴収がこれだけでできていけば素晴らしいのではないかと思います。 ・<u>新型コロナによる支払い猶予を行っている場合、今後も収納率に影響が出てくる可能性があるため、丁寧な対応が必要かと思われます。</u> ・<u>収納率 1%といっても金額にすると大きいです。未納者の立場、事情もいろいろと推察されますが、少しずつでも改善できることに期待します。</u> ・生活保護を受けていない人にも生活困窮者がいるということを感じました。一方では払えるのに払わない人がいるということでしょう。水は最後のセイフティネットなので徴収に対し大変な御苦労を感じます。 	<p>[a 評価] 収納率の向上については、計画どおりに進捗している。 安定経営のために未収金を減らすとともに、お客さまに寄り添った丁寧な対応に努めること。</p>